

# 櫻

成田市立中台中学校 学校だより

発行：内田 淳

令和5年 4月10日(月) Vol.01

学校教育目標 『自ら学び、豊かな心を持ち、たくましく生きる生徒の育成』

「仲間も、自分も、大切にしよう」

「あきらめずに、取り組もう」



【ホームページへ】

## ごあいさつ ~校長から

今年度、校長として着任しました、内田 淳（うちだ じゅん）と申します。意欲にみなぎり、明るく元気な生徒と、熱意のある教職員に迎出会うことができ、たいへんうれしく、また心強く感じています。

おかげさまで、本日、無事に入学式を行うことができ、72名の新1年生を迎えました。創立51年目の中台中学校は、8学級・214名の生徒と、30名の教職員とでスタートしました。これまで培ってきた指導や支援の積み重ねや、長い伝統を大切に継承し、さらに充実・向上するよう努めてまいります。

コロナ禍による行動制限が徐々に緩和され、日常が取り戻されつつあります。まだまだ世の中の情勢は先行きが見通せませんが、生徒とともに生活できること、そして、学習や様々な活動ができることの喜びをかみしめ、一日一日を大切に過ごしていきたいものです。

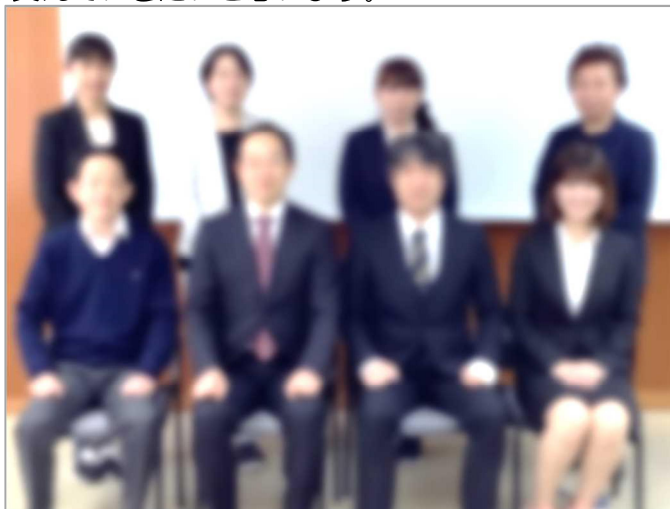
7日(金)に行われた着任式・始業式では、生徒の、整然とした姿勢や、清潔感のある身だしなみ、そして、はつらつとした校歌、さわやかな挨拶に、心を動かされました。

進学・進級し、新しい出会いがある中で、気持ちも新たに頑張ろう、という清々しい決意が伝わってきました。その気持ちを、私たち教職員はしっかり受け止め、生徒たちの変わりたい、挑戦したいという思いを、しっかり支えていきたいと思えます。

早速、今年度も「学校だより・櫻」を発行し、学校の様子や、生徒の表情などを伝えてまいります。

どうぞよろしくお願いいたします。

【職員紹介 その1】



よろしくお願いいたします。

## みなぎる、始業式



【2年生代表・〇〇さん。挫けない心をもつことを、しっかりと訴えました】



【3年生代表・〇〇さん。進路選択も行事も、全力で頑張ろうとする意気込みが伝わりました】

着任式で、私たち転入職員を温かく迎えてくれた後は、気持ちを切り替えて、整然とした雰囲気の中で、始業式を行いました。代表生徒の語る抱負からも、「意欲のみなぎる春」の思いが感じられました。

## 祝・ご入学

本日の入学式の式辞で、新入生に向けて述べたことを、抜粋して紹介します。  
「みなさんの心に刻んでほしいこと」として、二つの事柄を述べました。

一つ目は、「仲間も、自分も、大切にすること」です。  
「仲間を大切にすること」は、誰もが分かることだと思います。  
・ 思いやること  
・ 助け合うこと  
・ 相手の気持ちを想像すること などが挙げられます。  
では、「自分を大切にすること」とは、どういうことでしょうか。  
私は、こう考えています。  
・ 自分のよいところを自覚し、それを伸ばすこと  
・ スポーツ、読書、音楽、絵を描くなど、「好きなこと」にエネルギーを注ぎ、自分の心を豊かにすること  
・ どんときでも、自分を否定せず、頑張っている自分を認めること  
一人一人の良さが、素直に伸びていくために、そして、互いに居心地よく生活するために、ぜひ、心がけてほしいと思います。  
二つ目は、「あきらめない」ということです。  
これから始まる三年間には、初めて体験する喜びや感動に満ちあふれています。一方で、今まで経験したことのないような壁にぶつかるかもしれません。  
うまくいかない、もうだめかもしれない…そんなときは、深呼吸を一つして、何かできることはないか、と考えてみてください。皆さんには、自分でも気付かないような力や可能性があります。皆さんは、あきらめなければ、これから、何でもできます。

## 新入生のために、自分たちのために



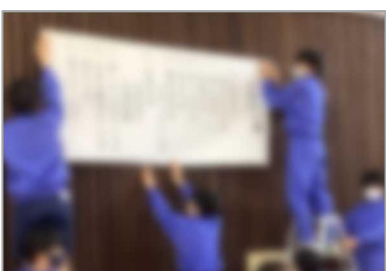
【すみずみまで、丁寧に。下駄箱を掃除しています】



【テーブルクロスを、美しく掛けました】



【「もうちょい上かな？」壇上の国旗などをバランスよく設置】



【最後の仕上げに式次第を掲示。これにて完了！】

7日(金)の午後は、入学式の準備に総力を挙げて取り組んだ2、3年生。校歌と、合唱曲「生きている証」の練習をした後、清掃や会場設営に取りかかりました。

本校の生徒は、てきぱきと、よく働きます。実に清々しいです。

1年生が安心して入学できるように、と思いを込めて頑張りました。このような態度や気持ちは、自分たちの成長の糧になります。

誰かのために行動したことが、やがては、自分を高めるのです。